

平成26年度

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団

事業計画書

平成26年3月

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団

理 念

私たち

社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は
保健や福祉のサービスを通じて、
暮らしやすい地域社会の創造に貢献する
とともに、すべての人が安心・充実した
生活を送れるよう支援します。

基本方針

- 1, 人権を擁護し，法令を遵守した運営を行います。
- 2, 公益性・公平性・効率性を重視した運営を行います。
- 3, ひとりひとりに安心と満足のできるサービスを提供します。
- 4, 暮らしやすい地域社会を創造する活動に積極的に参加します。
- 5, 保健・福祉の拠点として柔軟性と機動力を備え，先進的な取り組みに挑戦します。
- 6, 保健福祉のプロ集団として豊かな創造力と熱い情熱を持って業務を行います

目 次

【事業計画】

| | | |
|----------------------------|---------------------------|----|
| 平成26年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団事業計画 | ----- | 1 |
| 1. 経営企画室 | ----- | 2 |
| 2. 暮らしき健康福祉プラザ管理業務 | ----- | 3 |
| 3. 保健福祉相談室 | ----- | 5 |
| 4. 倉敷ファミリー・サポート・センター | ----- | 7 |
| 5. 健康増進センター | I 健康づくり事業 ----- | 8 |
| | II 介護予防事業 ----- | 11 |
| 6. 子育て支援センター | I 子育て支援事業 ----- | 13 |
| | II 感覚矯正事業 ----- | 15 |
| 7. 倉敷市身体障がい者デイサービスセンター | ----- | 17 |
| 8. 倉敷市真備健康福祉館 | ----- | 20 |
| 9. 倉敷市憩の家 | ----- | 23 |
| 10. 倉敷障がい者就業・生活支援センター | ----- | 25 |
| 11. 倉敷市ふじ園 | ----- | 27 |
| 12. 倉敷市くすのき園 | ----- | 30 |
| 13. 倉敷市老人福祉センター | ----- | 34 |
| | I 西岡荘 ----- | 35 |
| | II 有城荘 ----- | 37 |
| | III まきび荘 ----- | 38 |
| 14. 倉敷市児童館 | ----- | 39 |
| | 倉敷児童館 倉敷北児童センター 水島児童館 | |
| | 児島児童館 玉島児童館 真備児童館 | |
| 15. 倉敷市障がい者支援センター | ----- | 44 |
| | 児島障がい者支援センター 玉島障がい者支援センター | |
| | 水島障がい者支援センター | |
| 16. 在宅福祉課 | ----- | 47 |

議案第 1 2 号

平成 2 6 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団事業計画

平成 2 6 年度は、当事業団が運営する施設のうち「真備健康福祉館」を除くすべての施設で新しい指定管理期間が始まります。公募施設の「くらしき健康福祉プラザ・倉敷市身体障がい者デイサービスセンター」「西岡荘」「憩の家」については、当事業団が指定管理者として選定されました。指定管理期間は本年度から平成 2 9 年度までの 4 年間で、今回から更新制が適用され今期以降 3 年・3 年の期間更新が可能です。

また、水島地区の「憩の家（7 施設）」と老人福祉センター「まきび荘」を新たに当事業団が管理運営することになりました。

さらに、「ふじ園」「くすのき園」「児童館」「有城荘（福社会館含む）」「障がい者支援センター」の各施設は非公募で指名され、本年度から平成 3 0 年度までの 5 年間引き続き指定管理者として運営にあたります。

これら指定管理施設の運営にあたっては、提案した各種の事業を順次実施して、利用者の快適性と利便性を向上させ、施設の設置目的を実現してまいります。

また、くらしき健康福祉プラザで実施する各種の受託事業についても利用者のニーズや社会的な動向を的確に把握し、事業に反映させ質の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。

今後とも、関係各位の御指導と御協力をいただきながら、全職員が一丸となって組織の活性化と効率化を進め、市民福祉の向上と健康の増進のために事業に取り組んでまいりますので、一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

平成 2 6 年 3 月 2 6 日

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団
理 事 長 山 磨 祥 二

経営企画室は、事業団を取り巻く環境変化に対応するため、平成22年度に設置され、同年度に人材育成計画・職員研修計画、平成23年度には中期経営計画、平成24年度では中期経営計画に基づく実施計画を策定しました。

今後は、これらの計画を確実に実施することで、経営基盤の強化に向けた取り組みを進めるとともに、時宜にかなった見直しを行い、各計画を実施してまいります。

〔主な事業内容〕

(1) 中期経営計画の見直し

中期経営計画の期間は、平成24年度から28年度までとなっており、進捗状況や環境変化に対応するため、中間年である今年度に見直しを行います。

(2) 中期経営計画及び人材育成計画の進行管理

事業団の社会的役割を果たし、持続可能な事業団運営を目指して、中期経営計画に基づき策定した実施計画を進めていくことで、経営基盤の安定と組織の柔軟性を確保し、進行管理を行うことで実効性を担保します。

また、人材育成計画を着実に実施することによって職員の資質の向上を図り、質の高いサービスの提供に努めます。

(3) 職員研修の実施

職員自らの果たす役割や目指すべき方向性を認識し、業務遂行に必要な専門知識・技能等の修得と併せて、実践の中から新たな課題や目標を設定し、サービスの質の向上はもとより、高い専門性に基づき困難事例や緊急時にも適切に対応できるよう、

「人材育成計画・職員研修計画」に沿って職員研修を体系的・計画的に実施します。

(4) 委員会の開催

ア 運営検討委員会

地域に密着した施設管理や事業展開など安定的・継続的な運営や将来を見据えて、自ら考え主体的に行動する自立的な事業団経営を実践していくための方策を調査・検討する運営検討委員会を開催します。

イ 苦情解決運営委員会

事業団の施設運営や事業に対する利用者からの苦情申出を円滑かつ早期に解決するとともに、苦情内容を集積・分析し、より良いサービスの提供に向けて活用するため、苦情解決責任者（各職場の責任者）、第三者委員（人権擁護委員、保護司、民生・児童委員）等で構成する苦情解決運営委員会を開催します。

(5) 情報共有システムの構築

職員や職場が多年にわたって蓄積したノウハウやマニュアル等の情報を、サービスの質の向上と均一化や業務の効率化のツールとして引き継ぎ、共有・活用できるよう、パソコンを利用して情報をデータベース化するシステムの構築を進めます。

指定管理者として、くらしき健康福祉プラザの貸出施設の使用の許可並びに施設設備の維持管理業務（デイサービスセンター，保健所を含む）を，倉敷市総合福祉事業団とクラレテクノ株式会社が，平成21年度から共同事業体として運営しており，今年度から新たな指定管理期間となります。

これまで培って来た事業団の保健福祉サービス提供力とクラレテクノの施設・設備のメンテナンス技術力等のノウハウを結集して円滑に業務を遂行し，くらしき健康福祉プラザが，保健福祉施設として効率的・弾力的で，施設利用者に安全・安心と満足感を感じていただける施設となるよう，事業団とクラレテクノが一体となって実現します。

さらに，施設の管理及び運営においては，プラザ内で事業団が実施している保健福祉事業や他の類似施設との連携を密にすることにより，センター・オブ・センターとしての機能を最大限発揮するよう努めます。

〔主な事業内容〕

(1) 下記施設の利用の許可

プラザホール，工芸室，視聴覚室，調理室，研修室（4室），和室研修室，体育館，水浴訓練室，屋外区画（2区画）

引き続き，施設の利用時間等を拡大をします。（8時30分からの利用時間延長，101・102研修室の23時までの利用時間延長，101，102研修室の休館日の利用）

また，今年度から月曜日以外の祝日法に規定する休日（元日は除く）を開館し，開館日数を拡大します。

(2) 施設及び設備の維持管理（デイサービスセンター，保健所を含む）

(3) 自主事業

ア プラザ壁面のスペースを高齢者や障がい者，各種団体の作品発表などに提供します。

イ 「くらしき健康福祉プラザまつり」を開催します。（11月24日（月：振替休日）予定）

ウ 利用団体専用の広報用掲示板の設置を行います。

エ 障がい者の自立支援等のため，プラザ1階に開設した「手作り品展示販売コーナー」の運営を行います。

また，今年度から利用者の利便性の向上と販売施設の売上の増加を図るため，カタログと注文票を設置し、注文販売を行います。

オ 比較的利用が少ない夜間の調理室の有効利用と団塊の世代等の自立を支援するため，「男性料理教室」を開催します。

また，今年度から様々な人を対象とした料理教室を開催します。

カ 貸室予約の利便性向上のため，インターネット予約システムの導入を検討します。

なお、障がい者・高齢者等でパソコンが使えない方には，電話・ファックスを利用した申請代行について検討します。

キ 災害対応型自動販売機の設置や非常用の物品の備蓄を行い，地域防災の強化を図

ります。

ク プラザ内の階段等へ消費カロリーを表示する等、市民の健康づくりの支援を行います。

ケ 利用者のサービス向上のため、駐車場の拡張に取り組みます。。

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------|----|-------------|-------------|-------------|
| 一般利用 | 人数 | 36,726人 | 40,000人 | 37,000人 |
| | 料金 | 4,184,065円 | 4,445,000円 | 4,443,000円 |
| 減免利用 | 人数 | 133,393人 | 131,000人 | 135,000人 |
| | 料金 | 11,183,465円 | 11,572,100円 | 11,875,000円 |
| 合 計 | 人数 | 170,119人 | 171,000人 | 172,000人 |
| | 料金 | 15,367,530円 | 16,017,100円 | 16,318,000円 |

高齢者、障がい者その他の市民に対する保健福祉に係る相談事業と福祉用具等展示事業及び保健福祉関係の図書、資料等による情報提供事業を行い、市民の保健福祉の向上を図ります。

福祉用具等展示事業では、高齢者や障がい者が住宅生活を営む上で、必要な用具等の知識が得られることを目的として、介護用品、福祉用具及び住宅改造モデルの展示を行い、見学や情報提供等を通じて、市民の生活の質の向上を目指します。

〔主な事業内容〕

(1) 保健福祉相談事業

ア 保健福祉に関する一般的初期相談を行うとともに、相談内容に応じ、専門的相談窓口等の情報を提供します。

イ 手話通訳者を配置して、聴覚障がい者のくらしき健康福祉プラザ及び保健所等での相談や各種手続きの支援、プラザで行われる倉敷市身体障がい者デイサービスセンターの講座や子育て支援センターの行事などへの参加の支援を行います。

また、障がい者支援センターへ月1回以上出張して、相談者の支援を行います。

(2) 福祉用具等展示事業

ア 常設展示コーナーでは、超高齢社会と言われる現代において、老老介護での介護負担を軽減するような移動用リフト、電動車椅子、自動採尿器等、各種介護用品や福祉用具を約200点展示し、来場者が体験を通じて在宅での生活に活用できるよう助言を行い、最新の情報を提供します。

また、健康な人にもいろいろな障がいを想定した体験により、障がいがある人の実生活と予防について理解を深められるよう支援します。

福祉用具の特設コーナーでは、話題の用具や新製品を展示することで市民への情報提供に努めます。展示品はテーマを決めて3か月毎に入れ替えを行います。

住宅改造モデルコーナーでは、高齢者、障がい者等が、在宅での日常生活を営む上で必要な住宅改造等の知識が得られるよう、実生活をイメージした体験を通じて、説明や情報提供を行います。

イ 福祉用具特別展を年2回開催し、専門家による無料講座を開くなど、より多くの福祉用具の情報を提供します。

ウ 市内の小・中学生を対象にして夏休み期間中に、プラザバリアフリー探検・福祉用具体験教室を10回開催します。関連して、随時に学習のための体験もサポートします。

エ 市内6児童館及び真備健康福祉館に出前を行い、地域の児童等に福祉用具体験教室や展示会を開催します。

オ 高齢者疑似体験セットを市内の小・中学校、施設、団体、個人等に無料貸出を行い、参観日等の学習や企業の研修会、ホームヘルパーの養成講座等での有効活用を促進します。

(3) 情報提供事業

図書コーナーにおいて、保健福祉に関する図書、資料等を収集し閲覧に供します。

また、保健福祉に関する最新のパンフレット、チラシ等の資料を収集、整理し、情報提供を行います。

「保健福祉相談室だより」を年4回発行し、保健福祉相談室のPRを行うとともに、事業や福祉用具等の新しい情報を発信します。

保健福祉相談室利用者数

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 | |
|------------------|------------------------|-------------|---------|---------|--------|
| 相 談 事 業 | 保健福祉相談 | 3,449人 | 3,000人 | 3,010人 | |
| | 主 な 相 談 | 児童福祉関係 | 243件 | 200件 | 210件 |
| | | 高齢福祉関係 | 1,344件 | 1,200件 | 1,210件 |
| | | 障がい福祉関係 | 723件 | 600件 | 610件 |
| | | 介護保険関係 | 850件 | 800件 | 810件 |
| | | 保健関係 | 819件 | 700件 | 710件 |
| 手話通訳活動 | 1,305人 | 1,600人 | 1,620人 | | |
| 展 示 事 業 | 福祉用具・住宅改造 (特設コーナー含) | 3,024人 | 3,000人 | 3,000人 | |
| | 行 事 | 特別展(無料講座含) | 360人 | 400人 | 420人 |
| | | プラザバリアフリー探検 | 116人 | 127人 | 130人 |
| | | 児童館出前教室 | 147人 | 112人 | 120人 |
| | | 真備健康福祉館出前活動 | 39人 | 13人 | 20人 |
| 高齢者疑似体験セット無料貸出 | 493人 | 530人 | 530人 | | |
| 情報提供事業 | | 1,234人 | 1,300人 | 1,300人 | |
| 合 計 | | 9,505人 | 9,430人 | 9,460人 | |

4. 倉敷ファミリー・サポート・センター

健康福祉課

地域において育児の援助を行いたい人（提供会員）と育児の援助を受けたい人（依頼会員）を組織化し、会員同士の育児に関する相互援助活動を支援することにより、仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境の整備と地域の子育て支援を行い、児童の福祉の向上に寄与します。

〔主な事業内容〕

(1) 会員の募集，登録その他の会員組織業務に関することを行います。

(2) 相互援助活動の調整

依頼会員から援助の申込みを受けて，援助の内容，日時等の詳細を確認し，申込み内容にふさわしい提供会員と依頼会員との事前打合わせを行います。

(3) 講習会の開催

会員に対して，相互援助に必要な知識を習得するための基礎研修やフォローアップ研修を開催します。

(4) 交流会の開催

会員の交流を深め，情報交換の場を提供するための交流会を開催します。遊びや話し合いの会など情報交換の場を通して，会員同士の親睦を図ります。

〈相互援助活動の内容〉

ア 保育施設の開始前まで子どもを預かること。

イ 保育施設の保育終了後，子どもを預かること。

ウ 保育施設までの送迎を行うこと。

エ 放課後児童クラブ終了後，子どもを預かること。

オ 学校の放課後，子どもを預かること。

カ 子どもが軽度の病気の場合等，臨時的，突発的に子どもを預かること。

キ 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際，子どもを預かること。

ク 買い物等外出の際，子どもを預かること。

ケ その他会員の育児に関して必要な援助。

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込み | H26年度目標 |
|------|---------|----------|---------|
| 依頼会員 | 1,156人 | 1,370人 | 1,450人 |
| 提供会員 | 492人 | 510人 | 520人 |
| 両方会員 | 189人 | 220人 | 230人 |
| 合 計 | 1,837人 | 2,100人 | 2,200人 |
| 活動件数 | 6,320件 | 6,000件 | 6,100件 |

I 健康づくり事業

健康づくり事業は、18歳以上の市民または市内に勤務する特定健康診査等により、健康の維持に努める必要がある人に対し、「運動・食事・休養」の観点から、心身の健康の維持・増進や生活習慣病を予防することを目的に健康づくりを支援します。

健康づくりの実践として、ヘルスチェック受診後の個別支援プログラム（個人処方）を基に、トレーニング器具、水浴訓練等の運動指導や食事及び休養について指導します。

また、各種セミナーや個別相談等を通じて、総合的に市民の健康管理への動機づけや生活習慣改善について指導・支援をしていきます。

そのうち、65歳以上の高齢者がいきいきと自立した生活が実現できるよう、筋力低下や転倒防止のための運動能力向上のトレーニングや心身ともに健康を維持するための食事指導、休養の支援等を行います。

特定保健指導は、特定健康診査の結果、特定保健指導対象者となった40歳以上の個人やグループに対し、生活習慣を改善していくために必要な行動計画の作成と実践について、保健師・管理栄養士・健康運動指導士が継続してサポートします。

このほか、くらしき健康福祉プラザから遠い地域の市民に対し、健康づくり支援を行うため、日常生活に取り入れられる内容の運動実践を中心とした「お出かけ運動教室」や、団体等の依頼を受けて栄養・休養の講話や健康体操を行う「出前健康教室」により、広く市民への健康づくりを啓発していきます。

これらの事業を通じて、利用者の目的に応じた健康情報などの提供や運動実践の指導を行うとともに、倉敷市の作成した健康くらしき21（Ⅱ）に沿った支援を展開し、市民の健康づくりの拠点としての役割を高めていきます。

〔主な事業内容〕

（1）個別支援プログラムを主とした健康づくりの実践事業

ア ヘルスチェック及び個別支援プログラム（運動・食事・休養処方）作成

メディカルチェックとヘルスチェックのデータに基づき、一人ひとりに合った運動・食事・休養の処方を作成します。

また、ヘルスチェック後には、希望者に対し運動・食事・休養の各専門スタッフ及び医師による個別相談を実施し、利用者との関わりを深めるとともに利用者の満足度を高めていきます。会員以外の市民からの電話や面接による個別相談にも対応します。

さらに、希望者やこれからヘルスチェックを受けたいと思われている人には、血液検査を実施します。検査結果については保健師、看護師等が個別に丁寧に説明し、利用者に寄り添った指導を行います。

イ 各種セミナー

（ア）健康づくり実践セミナー（全10回）

生活習慣病の予防を目的に、運動・食事・休養を総合的に学ぶことができる教室として実施します。日常生活の中に運動習慣を確立することで肥満を解消し、

動脈硬化により発症する脳卒中・心筋梗塞等の疾患の予防に繋げるため、集団指導の特性を生かした仲間づくりや、継続への意欲向上についても支援します。

(イ) 栄養セミナー

「食べること」の意味を理解し、正しい食生活を実践するために、生活習慣病予防等のテーマを設定して実施します。食への関心を高め、食生活改善が継続的に実践できるよう支援します。

さらに、高齢者の介護予防を目的に食事指導を行います。

(ウ) 休養セミナー

ストレスによる心の病気や心身症等を予防することを目的に実施します。

アロマなどを取り入れたリラクゼーションなど、様々なテーマで行い、より多くの方が自分にあったストレス解消法を見つけ、心身の健康維持ができるよう支援します。

また、高齢者の心身の健康維持のために講話等を行います。

ウ フリートレーニング

トレーニングルームで個人の運動メニューを基に自由に運動実践を行うとともに、体育館、水浴訓練室等を使用した各種教室を開催し、個人の目的や嗜好、レベルに応じた運動を自由に選択し効果的な運動プログラムの実践ができる場を提供します。

また、高齢者の介護予防を目的に、筋力・体力をアップさせる指導を行います。

エ お出かけ運動教室

くらしき健康福祉プラザから遠い地域の市民を対象に、倉敷北児童センター、水島児童館、児島児童館、玉島児童館及び真備児童館で実施します。ストレッチ・筋力トレーニング・「くらしきまち歩きさと歩きマップ」を用いたウォーキング指導など、日常生活に取り入れやすい実技を中心に行います。

(2) 特定保健指導

特定健康診査等により、特定保健指導対象者となった40歳以上75歳未満の個人又はグループに特定保健指導を実施します。

健診結果から生活習慣を振り返り、自ら健康づくりに取り組んでいけるように支援し、その6か月後の健康状態を評価します。

ア 動機づけ支援

特定保健指導対象者が、自らの健康状態を自覚し、医師、保健師、又は管理栄養士の面接・指導のもとに、行動計画を作成し実践します。対象者の生活習慣の改善を継続してサポートし、6か月後に効果について評価します。

イ 積極的支援

特定保健指導対象者が、自らの健康状態を自覚し、医師、保健師、又は管理栄養士の面接・指導のもとに、行動計画を作成し実践します。健康づくりに取り組める適切な働きかけを継続して3か月以上行うとともに、6か月後に効果について評価します。

(3) 健康づくりに関する普及・啓発

健康増進に関する情報の収集・提供を行い、利用者が健康づくりの技術を高められるよう支援します。

また、機関紙「健康づくり事業だより」を発行し、運動・食事・休養の情報を掲載することで、健康づくりの情報発信を行います。

さらに、「出前健康教室」として、親子クラブや幼稚園、小・中学校のPTAなど若い世代の団体をはじめ、地域の各種団体等からの依頼を受け、管理栄養士、健康運動指導士、保健師の各専門職員を派遣し、健康づくりのための食事や健康体操、ストレス解消法などの指導を行います。より広域で幅広い年齢層へ向けての派遣を行うことで、広く市民に健康づくりを普及・啓発します。

(4) 健康づくり関係組織との連携

市民の健康づくりを推進するため、倉敷市保健所、岡山県南部健康づくりセンター、市内の大学、健康づくり施設・団体等と情報交換を行います。

また、市内の大学の学生の実習を受け入れます。

(延人数)

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|-----------------|--------|---------|---------|---------|
| ヘルスチェック | | 850人 | 880人 | 950人 |
| 血液検査 | | 59人 | 50人 | 60人 |
| 個別相談 | | 139人 | 140人 | 140人 |
| 各種セミナー | 実践セミナー | 525人 | 712人 | 720人 |
| | 栄養セミナー | 339人 | 320人 | 340人 |
| | 休養セミナー | 258人 | 320人 | 330人 |
| フリートレーニング | | 27,240人 | 29,000人 | 30,000人 |
| お出かけ運動教室 | | 581人 | 600人 | 630人 |
| 特定保健指導 | 動機づけ支援 | 19人 | 8人 | 15人 |
| | 積極的支援 | 6人 | 7人 | 5人 |
| 健康づくりに関する普及・啓発等 | | 2,242人 | 2,000人 | 2,000人 |
| 合 計 | | 32,258人 | 34,037人 | 35,190人 |

II 介護予防事業

「介護予防普及啓発事業」

65歳以上の介護保険の認定を受けていない高齢者を対象に、地域において健康で明るい生活を送ることができるよう、介護予防に関する知識や運動の普及・啓発、自主的活動の育成・支援を行います。

くらしき健康福祉プラザや地域の憩の家、集会所等を会場とし、スタッフ（理学療法士・作業療法士・看護師・管理栄養士・健康運動指導士・音楽療法士）の専門性を生かした介護予防教室を実施します。

「生きがい対応型デイサービス事業」

おおむね60歳以上の介護保険の認定を受けておらず、とかく家に閉じこもりがちになる高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を目的に、憩の家等において、生きがいや健康に関する教室を実施します。

〔主な事業内容〕

(1) 介護予防普及啓発事業

転倒骨折の防止及び加齢に伴う運動機能の低下の予防・向上を図るため、運動、健康講話、音楽療法等を取り入れた教室を実施します。

ア 転倒予防教室

くらしき健康福祉プラザを会場に、「健康のびの〜び倶楽部」や「ららら♪健音倶楽部」等の各種教室を実施します。

また、新たに家庭での健康習慣定着や男性の参加を目的とした「（仮称）夫婦教室」を実施します。

イ 介護予防啓発教室

各地区の憩の家及び集会所等へ出向き、地域において介護予防に向けた取り組みが自発的に継続できるよう教室を実施します。

ウ 出前健康教室

主に市内で活動する団体やグループの要請に応じて職員を派遣し、介護予防のための出前健康教室を実施します。

また、公民館等の公共施設へのチラシ設置や、老人クラブ、愛育委員会等へのPR活動を行います。

エ 認知症予防教室

認知症の発症及び進行の防止、認知症に対する理解や対応等の普及・啓発を目的として、情報提供、運動、脳力トレーニング等を実施します。

オ 地域介護予防活動支援教室

地域住民に対する介護予防意識の浸透を図るため、地域における介護予防の担い手となる人材を育成するために必要な介護予防に関する知識及び技術等の習得を目的とする「介護予防リーダー養成教室」を実施します。

(2) 生きがい対応型デイサービス事業

高齢者の社会参加の促進，介護予防及び生きがいの向上を目的として，新たに水島地区を加えた4地区の憩の家を会場に教室を実施します。

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|-----------------|--------------|---------|---------|---------|
| 介護予防 | 転倒予防教室 | 8,264人 | 8,450人 | 8,700人 |
| 普及啓発事業 | 介護予防啓発事業 | 5,709人 | 6,350人 | 6,400人 |
| | 出前健康教室 | 3,541人 | 2,400人 | 2,400人 |
| | 認知症予防事業 | 864人 | 800人 | 800人 |
| | 地域介護予防活動支援事業 | 361人 | 300人 | 300人 |
| 生きがい対応型デイサービス事業 | | 3,379人 | 2,700人 | 2,500人 |
| 合 計 | | 22,118人 | 21,000人 | 21,100人 |

I 子育て支援事業

少子化や核家族化，また地域での交流が希薄になる中，子育て中の親の孤立感をやわらげ，育児不安や育児負担の軽減を図るため気軽に来所して相談できる場や，他の親との仲間づくりができる場づくりに努めます。

また，子育て情報の提供，子育てボランティアの養成等を実施し，地域に根付いた子育て支援を行います。

さらに，新たに今年度から託児サービスを行います。

〔主な事業内容〕

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

ア オープンスペース（遊びのひろば）の常設

親子でふれあいながら遊びの場を通して親同士の交流を広げて育児の孤立感を軽減し，親の育児の不安や悩み等に対しては，保育士や保健師が相談に乗りながら安心して子育てができるように支援します。

イ ひろば事業（こいのぼり，たなばた，クリスマス，ひなまつり）等の実施

伝統行事を大切にし，季節毎の遊びの集いでは親子で一緒にふれあい楽しみながら子どもの情操を育みます。

また，親子体操や音楽遊び，ミニコンサート等を実施してより一層，親子のふれあい活動を促進します。

(2) 子育て等に関する相談・援助の実施

ア 保育士，保健師が来所や電話での相談を実施します。また，月1回臨床心理士による特別相談を実施します。その他子育て支援関連機関等と連携を図りながら，障がい児や虐待やDV等の予防や早期発見に努めます。

イ 障がいや疑われる子どもに対しては，集団生活への適応や自立意欲の増進，親子関係の確立等のため，水浴療育や音楽療法，また，言語聴覚士と連携して集団療育教室，倉敷市立短期大学の協力を得ながら「親子ふれあい遊び」などを実施します。

ウ 親同士が気軽に話し合える環境づくりをして，座談会形式で実施してきた従来の「ほっとサロン」の内容を充実させます。

エ おもちゃを通して自主性や社会性が育つように遊びの場を提供するとともに，おもちゃ図書館事業として，心身に障がいのある18歳未満の児童におもちゃを貸し出します。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

子育て支援関係機関とのネットワークを密にして情報提供の充実を図るとともに，倉敷市が作成した「子育てハンドブック」，広報くらしき，報道機関等を通じて，より広く情報提供に努めます。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

子どもの健康や発達について専門家を招き「子育て講演会」「救命救急講座」「栄

養の話」「歯の話」「ベビーマッサージ」等を行い、より実践的な子育て支援を実施します。

(5) 地域支援活動の実施

ア クリスマスコンサートやプラザまつりを通じて、地域の子育て中の親子に楽しんでもらうとともに、センターの活動をPRします。

イ 地域子育て支援センターや児童館等と連携し、子どもの発達や育児に関する相談や情報提供に努め、保健師や保育士の専門性を生かしながら育児の支援をします。

また、子育てサークルにおいて遊びの指導や遊具の貸し出しを行い、地域での活動を支援します。

ウ 子育てボランティア養成講座を実施する事務局として養成講座を開催し、ボランティアの育成に努めます。

また、倉敷地区愛育委員会や栄養改善協議会にもボランティア事業に参加してもらうように働きかけます。

エ 各事業において託児ボランティアを受け入れ、母親が参加しやすい環境づくりに努めます。

また、学生ボランティアを受け入れます。

オ 倉敷市立短期大学や川崎医療福祉大学等の実習生及び中学生の体験学習を受け入れます。

(6) 託児サービスの実施

新たに倉敷市子育て支援センターの登録会員で生後6か月から就学前の健康な乳幼児を対象に託児サービスを実施します。

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------------------------|---------|---------|---------|
| 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 | | | |
| オープンスペース | 32,332人 | 30,000人 | 30,000人 |
| ひろば事業 | 797人 | 400人 | 500人 |
| 子育て等に関する相談、援助 | | | |
| 各種相談 (移動育児相談・特別相談含) | 1,854人 | 3,000人 | 3,100人 |
| 療育的教室(水浴療育・音楽療法・ 親子ふれあい遊び等) | 673人 | 450人 | 500人 |
| ほっとサロン | 301人 | 270人 | 300人 |
| おもちゃ図書館・本の貸し出し | 328人 | 320人 | 350人 |
| 子育て関連情報の提供 | | | |
| 子育てハンドブックの配布等 | 8,712人 | 8,500人 | 8,800人 |
| 子育て及び子育て支援に関する講習等 | | | |
| 講座・講演会 | 500人 | 500人 | 550人 |
| 地域支援活動 | | | |
| プラザまつり | 360人 | 200人 | 200人 |
| クリスマスコンサート | 480人 | 480人 | 480人 |
| 地域子育て支援 | 372人 | 600人 | 650人 |
| ボランティア 他 | 762人 | 700人 | 650人 |
| 託児サービス | — | — | 400人 |
| 合 計 | 47,471人 | 45,420人 | 46,480人 |

II 感覚矯正事業

視覚機能や言語聴覚機能について、障がいの早期発見、相談、訓練指導、情報提供を通して市民の健康と福祉の向上を図ります。

事業の柱である早期発見については、倉敷市が行う3歳児健康診査に視能訓練士と言語聴覚士が参加することで、健康診査業務の機能が向上されるよう保健所との協力体制を強化しながら実施します。

また、早期発見後のフォローや相談者に適切な対応を行うため、医療機関や他の関係機関との連携を深めていきます。

職員の知識・技能の向上を図り、市民や関係者から信頼や安心を得られるよう努めます。

〔主な事業内容〕

(1) 視能訓練事業

ア 相談

視能訓練士が見え方に関する相談・情報提供を行います。

また、専門的な相談は嘱託医が行い、今後の方向性や必要に応じて医療機関を紹介します。

イ 視覚障がい者自立支援

日常生活の困難に対して視覚補助具の紹介・使用訓練、環境調整を行い、在宅生活を支援します。

また、必要に応じて眼科、障がい福祉課、各社会福祉事務所、各障がい者支援センター、地域包括支援センター、倉敷市教育委員会、県立岡山盲学校等と連携を行います。

ウ 視覚発達支援

眼球運動又は視知覚等の発達に偏りがあり「読み」、「書き」が困難な就学前（6歳児）及び小学生に対して、視機能に関する相談・支援を行います。

また、必要に応じて幼稚園、保育園、通級指導教室、小学校等と連携を行います。

エ 地域活動

視覚に関する情報提供を行い、市民の知識向上、視覚障がいの早期発見のポイントについて情報提供を行います。子どもをもつ保護者に対しては児童館・児童センター、子育て支援センター等と連携しながら行います。大人に対しては介護予防事業者、地域包括支援センター等と連携しながら行います。

オ 3歳児健康診査への参加

倉敷市が行う3歳児健康診査に参加し、視覚障がいの早期発見に努めます。

視能訓練事業

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|
| 相談(専門相談含む) | 351人 | 350人 | 350人 |
| 視覚障がい者自立支援 | 70人 | 350人 | 400人 |
| 視覚発達支援 | 31人 | 60人 | 60人 |
| 地域活動 | 1,574人 | 1,000人 | 1,000人 |
| 3歳児健康診査個別相談※ | 1,465人 | 1,400人 | 1,400人 |
| 合 計 | 3,491人 | 3,160人 | 3,210人 |

※3歳児健康診査での見え方に関する個別相談(アンケート項目該当者のみ)

(2) 言語聴能訓練事業

ア 相談

言語聴覚士が言葉に関する相談を行います。

また、聞こえに関する相談や検査については、医療機関と連携し適切な対応を行います。

イ 言語訓練

言語発達の遅れ・言語障がい者にグループを中心とした言語訓練を行います。

また、幼稚園、保育園、幼児指導教室、通級指導教室と連携を強化し、言語訓練利用者の社会生活がより円滑に行えるよう専門機能を提供し、必要に応じて情報交換やケース会議を行います。グループ活動を通して保護者同士の交流を深め、家庭や社会生活での悩みや不安を軽減できるよう支援します。

3歳までの発達に不安がある親子を対象とした集団療育教室を、子育て支援センターと連携し、より充実した内容で行います。

ウ 地域活動

言語に関する情報提供を行い、市民の知識向上、言語障がいの早期発見のポイントについて情報提供を行います。子どもをもつ保護者に対しては児童館・児童センター、子育て支援センター等と連携しながら行います。大人に対しては介護予防事業者、地域包括支援センター等と連携しながら行います。

エ 3歳児健康診査への参加

倉敷市が行う3歳児健康診査に参加し、言語聴覚機能の障がいの早期発見に努めます。

言語聴能訓練事業

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|
| 相談 | 1,018人 | 1,200人 | 1,200人 |
| 言語訓練 | 931人 | 950人 | 1,000人 |
| 地域活動 | 284人 | 300人 | 300人 |
| 3歳児健康診査個別相談※ | 788人 | 860人 | 860人 |
| 合 計 | 3,021人 | 3,310人 | 3,360人 |

※3歳児健康診査での聞こえ・ことばの個別相談(アンケート項目該当者のみ)

倉敷市身体障がい者デイサービスセンターは、市内の在宅の身体障がい者に対して、各種のサービスを提供することで、利用者の日常生活の自立と社会参加を促進し、地域生活を支援することを目的とした、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（以下「障害者総合支援法」という。）に基づく「地域活動支援センター事業」を行っています。

重度重複障がいのある人や病気・事故等の後遺症により理解力や意思疎通が困難な人に対して、身体的、精神的状態とそのニーズを的確に把握し、利用者の意思及び人格を尊重し、質の高いサービスの提供に努めます。

「地域活動支援センター基礎的事業」では、社会適応訓練講座としてパソコン、創作的活動として囲碁、書道、編物、絵手紙、また、文化的講座として笑いヨガ、フラワーアレンジメント、音楽療法等を開催します。

「地域活動支援センターⅡ型事業」では、地域において雇用や就労が困難な在宅の身体障がい者に対して、入浴、送迎、給食、レクリエーション、機能訓練等各種サービスを行います。

「社会参加推進事業」では、各種障がい者スポーツ教室を開催するとともに、市民を対象としたスポーツ体験教室を開催します。

〔主な事業内容〕

（1）基礎的事業（講座）

障がい者の社会参加や生活の質の向上と自立を促進するために、パソコン、囲碁、書道、編物、絵手紙、笑いヨガ、フラワーアレンジメント、音楽療法等の講座を実施します。

（2）Ⅱ型事業（デイサービス）

ア 基本サービス

（ア）機能訓練

身体機能の維持と低下を防止するため、利用者のニーズに合わせて個別機能訓練計画をたて、訓練を行います。

（イ）社会適応訓練

地域で自立した生活を送ることを目指し、社会生活のマナーやコミュニケーション能力を身につけるための指導を行います。

（ウ）レクリエーション

工作、ゲーム、カラオケ等のレクリエーション、また、様々な社会体験活動やデイサービス祭、七夕会、クリスマス会等季節感のある行事などを行います。

（エ）健康指導

「デイサービスだより」を毎月発行し、健康に関する啓発活動を行います。

利用者のニーズに合わせて服薬の指導を行います。

毎月体重測定を行い、病気の予防に関する指導を行います。

（オ）生活の相談支援

児島・玉島・水島の各障がい者支援センターや市内の地域支援センター等と連携を図りながら，日常生活や社会参加に向けての生活の相談に応じます。

(カ) 介護方法の指導

必要に応じて家庭訪問を行い，家庭での介護の問題に対して相談支援を行います。

イ 入浴サービス

特殊浴槽や一般浴槽による入浴サービスを行います。

ウ 送迎サービス

リフト付車輛による送迎サービスを行います。

エ 給食サービス

利用者の摂食状態に合わせ「普通食」「粒ペースト食」「ミキサー食」等の形態に分けた給食を提供します。

オ 介護サービス

排泄・食事・移動等，日常生活動作の困難な利用者に対し必要な介護を行います。

カ オープンデイサービス

家族に利用者のデイサービスセンターの様子を見ていただくとともに家族からの意見や要望を聞き相談支援を行います。

(3) 社会参加推進事業（障がい者スポーツ推進事業）

障がい者スポーツ推進のため，アーチェリー，車椅子テニス，車椅子バスケットボール，グラウンドゴルフ，車椅子ツインバスケットボール，電動車椅子サッカーの障がい者スポーツ教室及び体験教室を実施します。

(4) その他

ア ピアサポート事業（パソコン自主学习）

社会適応訓練室を開放し，ボランティアと協力しながら，障がい者の自主学习（パソコン）を支援します。

イ センターの地域開放と交流の促進

施設を地域に開放し，中学生，高校生，福祉を目指す大学生や専門学校生及び市民のボランティアを積極的に受け入れます。

また，教員志願者のための介護体験や，介護福祉士養成のための介護技術現場実習としての場を提供します。

ウ 関係機関・団体との連携

各行政機関，障がい者福祉関連団体，支援学校等と連携し，積極的に障がい者の地域生活の支援を行います。

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------------------|----------------------|---------|---------|---------|
| 基礎的事業 (講座) | 種 類 | 8種類 | 8種類 | 9種類 |
| | 実施回数 | 231回 | 230回 | 240回 |
| | 受講者数 | 1,532人 | 1,440人 | 1,450人 |
| Ⅱ型事業 (デイサービス) | 延利用数 | 2,689人 | 2,303人 | 2,360人 |
| | 入浴サービス | 1,427人 | 1,200人 | 1,250人 |
| | 送迎サービス | 4,228人 | 3,800人 | 3,900人 |
| | 給食サービス | 2,649人 | 2,250人 | 2,300人 |
| | オープンサービス | 23人 | 29人 | 30人 |
| | 体験利用者数 | 0人 | 1人 | 2人 |
| | デイサービス祭 又は運動会 | 17人 | 23人 | 28人 |
| 社会参加推進事業 (障がい者スポーツ) | スポーツ教室 | 2,954人 | 3,200人 | 3,250人 |
| | 体験教室 | 84人 | 90人 | 100人 |
| その他 | ピアサポート (パソコン自主学習) | 483人 | 360人 | 400人 |
| | ボランティア | 727人 | 660人 | 700人 |
| 合 計 | | 8,385人 | 7,963人 | 8,160人 |

市民の健康づくりや福祉活動等を支援し、及びすべての世代が集い交流できる場の提供に努めます。また、他の施設との連携を密にすることで市民へのより良いサービスを提供していきます。

〔主な事業内容〕

(1) 施設の使用許可

ア 有料施設

温水プール・トレーニング室・介護予防室・軽運動室・多目的室・広間・和室
(3室)・会議室・食育活動室・実践活動室

イ 無料施設

ふれあいホール・こどもひろば・多目的広場(屋外)

(2) 施設及び設備の維持管理

(3) 温水プールの運営に関する業務

プールの利用者が、安全で円滑な活動が行えるよう、適切な運営管理を行います。

(4) トレーニング室、介護予防室及び軽運動室の運営に関する業務

市民の健康づくりを支援するため、トレーニング等に関する的確な指導及び助言等を行います。

(5) 授産品等の展示及び委託販売の運営に関する業務

ふれあいホールにおいて、障がい者福祉施設等で製作された授産品及び倉敷市大学連携福祉事業で製作された製品を展示して、委託販売を行います。

また、近隣に販売業者がないため、利用者の利便性が向上されるよう、飲食物や物品等を販売します。

(6) 基幹事業

市民の健康づくり、福祉活動等を支援し、すべての世代が集い、交流できる施設となるよう、業務水準書に指定された4事業の各業務基準書に沿った次の事業を行います。

ア こどもひろば事業

(ア) こどもひろばの管理運営

(イ) 育児サロン

(ウ) 子育て講演会

(エ) 親子のふれあい遊び

(オ) 絵本の読み聞かせ

(カ) おんがく遊び

(キ) 竹を使った手作りおもちゃづくり

(ク) プレママ教室

イ 親子交流促進事業

(ア) 親子水泳教室(親子プール)

(イ) 親子でリズム体操(親子体操)

- (ウ) 親子でおやつづくり (親子クッキング)
- ウ 世代間交流事業
 - 市民ステージ (まびいきいきプラザまつり)
- エ 世代間ふれあいデイサービス事業
 - (ア) 健康体操
 - (イ) 水中運動
- (7) 自主事業
 - ア 市民の健康づくりの支援
 - (ア) 親子でシェイプアップ教室
 - (イ) 健康セミナー
 - (ウ) リフレッシュエクササイズ
 - (エ) 特定保健指導
 - (オ) 小学生向け水泳教室
 - (カ) フリーパスフィットネス
 - イ 地域の子育て支援
 - (ア) 託児つきエクササイズ (子育て中でも大丈夫)
 - (イ) 親子で食育セミナー
 - (ウ) 出前キッズ号
 - ウ 障がい者, 高齢者等の社会参加の支援
 - (ア) 障がい児支援のための音楽療法
 - (イ) シルバー健康体操
 - (ウ) 高齢者いきいき大学
 - (エ) 高齢者・障がい者作品展
 - (オ) 障がい者授産品販売会の開催
 - エ 世代間交流の支援
 - (ア) 世代間ふれあい健康教室
 - (イ) 昔遊びの伝承教室
 - (ウ) 世代間交流バス旅行
 - オ 地域福祉活動の支援
 - (ア) 地域福祉活動支援講演会
 - (イ) 音楽コンサート

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------------|-----------------------|---------|---------|---------|
| 貸館業務 | | 16,922人 | 15,000人 | 15,500人 |
| 多目的広場(屋外) | | 2,285人 | 1,800人 | 1,800人 |
| プール利用 | | 31,297人 | 32,000人 | 32,000人 |
| トレーニング・介護予防・軽運動室 | | 8,700人 | 10,000人 | 10,000人 |
| 展示販売 | | 49人 | 50人 | 50人 |
| 物品販売 | | 562人 | 430人 | 430人 |
| 基 幹 事 業 | こどもひろば事業 | 14,181人 | 14,000人 | 14,000人 |
| | 親子交流促進事業 | 515人 | 400人 | 400人 |
| | 世代間交流事業 | 2,313人 | 1,700人 | 1,600人 |
| | ふれあいデイサービス事業 | 932人 | 930人 | 930人 |
| 自 主 事 業 | 市民の健康づくりの支援 | 9,986人 | 11,200人 | 11,300人 |
| | 地域の子育て支援 | 1,776人 | 1,700人 | 1,700人 |
| | 障がい者,高齢者等の社会参加の 支援 | 2,708人 | 3,900人 | 4,000人 |
| | 世代間交流の支援 | 493人 | 500人 | 500人 |
| | 地域福祉活動の支援 | 478人 | 660人 | 660人 |
| そ の 他 | 環境絵画展 | — | 300人 | — |
| | インターネット利用 | 969人 | 600人 | 600人 |
| | 見学者 | 181人 | 100人 | 100人 |
| 合 計 | | 94,347人 | 95,270人 | 95,570人 |

倉敷地区（中央，茶屋町，中島，天城，笹沖，庄，中洲，豊洲，豊洲中央，庄東，生坂，西阿知）

水島地区（古新田，連島，水島，浦田，連島北，広江，鶴新田）

児島地区（児島，稗田，琴浦，下の町，赤崎，本荘，下津井，郷内）

玉島地区（玉島，黒崎，南浦，乙島，長尾，柏島，柏島東，穂井田，船穂）

憩の家は、地域の高齢者や住民に対し、教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、高齢者の心身の健康保持及び相互の親睦を図り、やすらぎの場とする施設です。また、高齢者や住民が身近に感じ、高齢者と子どものふれあいの場としても気軽に利用できる施設となるよう努めます。

26年度からは、指定管理者として、これまでの倉敷、児島、玉島地区の29施設に加え水島地区の7施設を含む36施設の管理運営を行います。地域の特性を生かすために、地元の老人クラブ等に管理業務を委託し、事業団は維持管理業務等を通じて、援助、指導を行います。

市民の健康増進と地域活動の活性化のため、地域団体、公共的団体あるいは、自主活動を行っている各種同好会の活動の場を提供します。

利用者の自主活動は、民謡や詩吟、大正琴、舞踊、健康体操、卓球、囲碁、将棋、パソコン等が行われています。また、倉敷市と連携し介護予防事業等が順次、開設されています。講座の利用が高まるよう支援を継続します。

〔主な事業内容〕

（1）憩の家の維持管理業務

憩の家の維持管理にあたっては、利用者に安心して使用していただけるよう維持管理を行います。

（2）各地区共通の事業

ア 年金制度，医療制度，メタボリックシンドローム等様々なテーマを設定した教養講座を実施します。

イ 利用者の心身両面の健康を維持増進するため，くらしき健康福祉プラザと協力して転倒予防教室，健康体操，音楽療法教室などを開催します。

ウ 市内6児童館と連携し，高齢者，子ども，親子を対象とし，昔遊び，伝統行事，手作りおもちゃ等，世代間の交流事業に取り組みます。

エ 地域の親子クラブ，子育てサークルの活動の場として「ふれあいコーナー」や大広間を開放し，子育てを支援します。

オ 新規事業として，パソコン教室等の盛んな憩の家に，インターネットが自由に使えるよう環境整備に取り組みます。

（3）倉敷地区の事業

バスケットピンポン，スカットボール等のニュースポーツを有城荘，西岡荘と協力して実施します。

(4) 水島地区の事業

憩の家利用者有志による「高齢者と子どもの将棋教室」を開催し、高齢者と子どもとのふれあいが盛んになるよう努めます。

(5) 児島地区の事業

調理実習，布ぞうり，エコバッグづくり等，女性対象の教室を開催し，女性の利用の増加を図ります。

(6) 玉島地区の事業

囲碁・将棋が盛んな玉島地区で「憩の家囲碁・将棋大会」を開催します。高齢者が、普段とは違う人を相手に真剣勝負をすることで、地域の結束と他の地域との交流を深めます。

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------|------|----------|----------|----------|
| 倉敷地区 | 12施設 | 115,358人 | 116,000人 | 113,500人 |
| 水島地区 | 7施設 | — | — | 64,000人 |
| 児島地区 | 8施設 | 69,135人 | 68,000人 | 68,000人 |
| 玉島地区 | 9施設 | 78,628人 | 77,000人 | 78,500人 |
| 合 計 | 36施設 | 263,121人 | 261,000人 | 324,000人 |

障がい者就業・生活支援センターは、就業及び日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ることを目的に、国・県及び市からの委託を受けて備中県民局管内を対象に、障がい者の就労相談から職場定着までの支援を行います。

障がい者の雇用を進める上では、就職や職場適応などの就業面の支援はもとより、就職に伴う生活習慣の形成や日常生活の自己管理などに関する生活支援も重要です。そのため、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を行います。

また、障がい者が円滑に職場に適応し、定着できるようにするため、第1号職場適応援助者（ジョブコーチ）を配置し、障がい者が働く職場において障がい者、家族、企業等に対してきめ細かな人的支援を行います。

〔主な事業内容〕

（1）指導・助言・情報提供

ア 障がい者からの相談に応じ、就業及び日常生活、社会生活上の問題について、必要な指導及び助言等のほか情報提供を行います。

イ 機関紙「ここから」を発行（年4回）し、登録者、公共職業安定所等の関係機関や企業に対し、就業や生活に関する情報提供を行います。

ウ 利用者間及び職員との親睦交流を深めることと、社会スキルなどの習得を目的に、「ワークわく交流会」（在職者交流会・年4回）等の交流活動を行います。

（2）支援計画の作成

利用者の障がいの状況や相談に係る問題点を十分聴取し把握した上で、自立に向けた個別支援計画を作成します。

（3）関係機関等との連絡調整

より適切な指導・助言を行うため、本人及び家族の了解を得た上で、岡山障害者職業センター、福祉事業所、企業など関係機関との連絡調整を行います。

（4）就職に向けた準備支援

公共職業安定所への求職登録をし、職場紹介、職場訪問及び実習を支援するとともに、本人が仕事を覚え、職場環境に適応できるようにするためのジョブコーチの派遣等の制度を活用しながら、就職の支援を行います。

（5）離職の可能性の高い利用者に対する職場定着支援

職場不適応等で離職の可能性の高い利用者については、速やかに状況を把握した上で、本人、家族、関係機関等と対応策を検討し、職場定着に向けた支援を行います。

（6）基礎訓練

倉敷市ふじ園や提携する福祉サービス事業所において、基本的な生活・労働習慣の習得を目的とした基礎訓練を行います。

（7）職業準備訓練及び職場実習のあっせん

基本的な労働習慣の体得と職場への適合性を把握することを目的として、公共職業安定所と連携し、岡山障害者職業センターや企業等で実施される職業準備訓練及び職

場実習をあっせんします。

訓練や実習に先立ち、岡山障害者職業センターに作業能力評価を依頼し、その結果を踏まえ、必要に応じてケース会議を開催し、訓練・実習方法等について検討します。

(8) 企業への情報提供、助言等

ア 障がい者雇用支援セミナー（企業向けセミナー・年1回）を開催します。

イ 公共職業安定所と連携して、障がい者雇用に係る雇用率制度や助成金制度等を紹介します。

ウ 利用者を雇用予定又は雇用中の企業に対し、本人の障がい特性について理解を求めるとともに、労働条件等について相談に応じ助言を行います。

エ 職場開拓員を配置し、障がい者雇用に関心のある企業に対し、より積極的な雇用に取り組めるよう、情報提供に努めます。

オ 企業間のネットワークを構築するために、企業の視点から障がい者雇用を考える企業交流会「TEAM PLUS」（年6回程度）を開催します。

(9) 連絡会議の開催

就業支援業務を円滑かつ有効に実施するため、岡山労働局、公共職業安定所、岡山障害者職業センター、備中県民局管内（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町）の行政機関、福祉サービス事業所、保健医療機関、特別支援学校、当事者団体等の関係機関との連絡会議を年1回開催します。

(10) 情報収集・提供及び研修の実施

自立支援協議会（5団体）毎の就労部会に構成員として参加し、関係機関との連携を深め、就労に関する情報提供や事例検討を行います。

(11) 職業生活全般に係る支援の実施

利用者の職業生活に関する相談（仕事、体調管理等）や生活上（住宅の確保、金銭管理等）の相談等に応ずるなど就業及び日常生活又は社会生活に必要な支援を行います。

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 相談・支援件数 | 8,672件 | 8,800件 | 9,000件 |
| 登録者数 | 250人 | 260人 | 260人 |
| 新規登録者数 | 30人 | 30人 | 30人 |
| 職業準備訓練・職場実習件数 | 47件 | 35件 | 40件 |
| 就職件数 | 65件 | 58件 | 60件 |

自立した日常生活が困難な障がい者及び就労を希望する障がい者に、日常生活を営むために必要な訓練並びに就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行います。

利用者の支援にあたっては、「自己選択と自己決定」を尊重しながら、家族や関係機関との連携及びネットワークの構築を行い、より一層利用者の社会参加の実現を図ります。

また、利用者のニーズに的確かつ迅速に対応できるよう、適宜懇談を実施し、質の高いサービスの提供と効率的な運営を図ります。

I 自立訓練（生活訓練）

知的障がい者や精神障がい者を対象とし、地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上等のための訓練（職業習慣の習得等、一般就労に必要な基礎訓練を含む）や生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を、個別支援計画に基づき行います。

〔主な事業内容〕

（1）作業支援

利用者の主体性と社会生活の向上を促します。働く喜びを得るとともに、一人ひとりに見合った作業内容を提供し、作業場面を通じて利用者の適性や能力を的確に把握し、作業能力、作業態度、マナー等の育成を行います。

また、作業工程の効率化と新商品の開発に努めます。

（2）生活体験

ア 施設内生活体験

社会生活を営む上で必要な知識・技術等の習得を図るために、個々のニーズに合わせて、S S T（ソーシャル・スキル・トレーニング：日常生活に必要な生活力等）を実施します。

また、「就職者の話を聴く会」を開催し、利用者の一般就労への動機付けや就労意欲の向上の場とします。

イ 施設外生活体験

職場見学を行い、一般就労に対するイメージ作りを支援します。各種行事等を通じて、金銭管理、公共交通機関の利用等社会体験の機会を増やします。

また、ふじ園自治会の活動として、周辺地域の清掃活動の時間を設け、利用者の地域貢献活動を行います。

ウ 健康管理

嘱託医検診と定期健康診断を通じ、心身の健康状態の把握に努めます。

（3）給食

健康増進を図るため給食を実施します。

なお、内容は個々の利用者の状態にあった栄養素量・食事形態とします。

（4）避難訓練

消防計画に基づき、避難訓練を月1回実施します。

（5）施設の開放及び利用促進

地域の中・高校からの体験交流活動の受け入れ、教職員、福祉専門職員を目指す大学生や福祉講座の生徒の体験実習・援助技術現場実習等の場の提供を通じて、施設が保有する人的・物的資源を積極的に地域へ開放します。

利用促進については、事業案内のパンフレット等を活用し、倉敷障がい者就業・生活支援センター等の関係機関への配布及びホームページの内容を充実させることにより広報活動を行います。

また、特別支援学校の生徒や関係機関等の利用者を対象として、見学説明会を年2回開催し、潜在的な利用者の掘り起こしを行います。

(6) 事業団内他部署との連携強化

倉敷市総合福祉事業団は多様な福祉施設、事業を運営するとともに、音楽療法士、言語聴覚士、健康運動指導士等の豊富な人材を有しています。余暇活動の充実や健康の増進等、利用者一人ひとりの生活の質の向上に資するため、これらの人材を有効に活用すべく連携を図ります。

II 就労移行支援

就労を希望する65歳未満で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる障がい者を対象とし、一般就労へ向けて生産活動や職場実習、適性に合った職場の開拓、就職後における職場定着のための支援等を、個別支援計画に基づき行います。

〔主な事業内容〕

(1) 一般就労への移行支援

倉敷障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク、岡山障害者職業センター等の関係機関との連携強化に努め、職場見学・実習や就職の受け入れ企業の開拓を行い、関係諸制度を活用して就労へと導きます。

また、新たに、より多くの障がい者が一般就労に移行できるよう、支援難度の高い利用者に対する新たな支援方法を福祉系大学と連携し研究・開発し、直接支援に活用します。

(2) 職場定着支援

企業と調整を取りながら職場訪問を行い、就職後も企業や退所者から相談に応じられる体制を整え、現状把握・アフターケアの充実に努めます。

また、「就職者の話を聴く会」を開催し、企業でのマナーの再確認等情報交換のほかに、利用者の一般就労への動機付け、就労意欲の向上の場とします。

(3) 作業支援

利用者の主体性と就労意欲の向上を促します。働く喜びを得るとともに、一人ひとりに見合った作業内容を提供し、作業場面を通じて利用者の適性や能力を的確に把握し、企業で要求される作業能力、作業態度、マナー等の育成を行います。

また、作業工程の効率化に努めます。

(4) 生活体験

ア 施設内生活体験

社会生活や職業生活を営む上で必要な知識・技術等の習得を図るために、個々の

ニーズに合わせ、SSTを実施します。

イ 施設外生活体験

職場見学や実習を実施します。各種行事等を通じて、金銭管理、公共交通機関の利用等社会体験の機会を増やします。

また、ふじ園自治会の活動として、周辺地域の清掃活動の時間を設け、利用者の地域貢献活動を行います。

ウ 健康管理

嘱託医検診と定期健康診断を通じ、心身の健康状態の把握に努めます。

(5) 給食

健康増進を図るため給食を実施します。

なお、内容は個々の利用者の状態にあった栄養素量・食事形態とします。

(6) 避難訓練

消防計画に基づき、避難訓練を月1回実施します。

(7) 施設の開放及び利用促進

地域の中・高校からの体験交流活動の受け入れ、教職員、福祉専門職員を目指す大学生や福祉講座の生徒の体験実習・援助技術現場実習等の場の提供を通じて、施設が保有する人的・物的資源を積極的に地域へ開放します。

利用促進については、事業案内のパンフレット等を活用し、倉敷障がい者就業・生活支援センター等の関係機関への配布及びホームページの内容を充実させることにより広報活動を行います。

また、特別支援学校の生徒や関係機関等の利用者を対象として、見学説明会を年2回開催し、潜在的な利用者の掘り起こしを行います。

(8) 事業団内他部署との連携強化

倉敷市総合福祉事業団は多様な福祉施設、事業を運営するとともに、音楽療法士、言語聴覚士、健康運動指導士等の豊富な人材を有しています。余暇活動の充実や健康の増進等、利用者一人ひとりの生活の質の向上に資するため、これらの人材を有効に活用すべく連携を図ります。

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 契約者数 | 23人 | 19人 | 20人 |
| 在籍者数(3月31日現在) | 16人 | 8人 | 15人 |
| 延利用者数 | 4,021人 | 3,100人 | 4,600人 |
| 延職場実習日数 | 70日 | 170日 | 170日 |
| 実習受け入れ企業数 | 8社 | 12社 | 12社 |
| 就職者数 | 5人 | 7人 | 7人 |

倉敷市くすのき園は、児童福祉法の改正に伴い、平成24年4月から「医療型児童発達支援」、「放課後等デイサービス」及び「生活介護」の事業を行っています。

「医療型児童発達支援」は、保護者と共に通園する肢体に障がいのある児童に対して、日常生活に必要な基本的動作や知識技能の指導、集団生活への適応のための訓練及び治療を行います。

「放課後等デイサービス」は、障がいのある就学児に対して、授業の終了後及び長期休暇時に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行います。

「生活介護」は、常時介護を要する18歳以上の障がい者に対して、排泄及び食事の介護、創作的活動を行います。

利用者の支援にあたっては、利用者や家族の意向・要望を十分に踏まえ、利用者個々の状況に適切に対応できるよう、作成した個別支援計画に基づき、質の高いサービスを提供します。

また、家庭における育児負担を軽減するため、障害者総合支援法に位置付けられている「日中一時支援事業」を実施します。

〔主な事業内容〕

(1) 医療型児童発達支援

ア 診療

- ・小児科医による診察を行います。 1回/週
- ・整形外科医による診察を行います。 1回/週
- ・看護師による保護者への健康管理の助言や主治医の指示による医療的ケアを行います。

イ 訓練

- ・理学療法 児童の発達や年齢に応じて運動機能が向上し、生活の場で生かせるように支援します。
- ・作業療法 児童の遊びや日常生活での活動を通して、手の細やかな動きや使い方、日常生活動作(食事・着替え等)ができるよう支援します。
- ・プール療育 水中での全身運動による筋力強化やバランス感覚の取得を目指します。
- ・言語訓練 児童のコミュニケーションや言葉の発達の支援と指導を行います。
- ・見え方指導 児童の生活や遊びを通して「見る力」が育つよう指導します。

ウ 保育

集団での音楽遊びや作品等の製作、個別での児童の発達に応じた感覚遊びや運動遊び等を通して、友達との関わりや意欲を育て生活体験を広げ、生活習慣などが円滑に行えるよう支援します。

エ 給食サービス

児童の摂食状態に合わせ普通食、粒ペースト食、ペースト食などの形態に分けた給食を提供します。

また、児童の健康状態に合わせてアレルギー除去食を提供します。

オ 行事

子どもの日，七夕，夏祭り，運動会，クリスマス会等を実施し，児童の社会性を高めます。

行事の実施にあたっては，他施設，保育園等の地域資源を活用するとともに，ボランティアの参加を積極的に受け入れます。

カ 療育相談の実施

家庭療育についての助言，育児不安の相談，情報提供等を行うとともに，保護者との協力体制を確立します。また地域の療育支援を行います。

キ 関係機関・団体との連携

児童相談所，医療機関，保健所，支援学校，大学等との連携を密にして業務の活性化を図るとともに，関係団体による研修会等に参加して職員の能力の向上を図ります。

ク 地域福祉の推進

地域との交流を深めるためにボランティアの育成を行うとともに，実習生も積極的に受け入れていきます。

(2) 放課後等デイサービス

ア 訓練

A D L(日常生活動作)の向上を目指し，利用者のニーズに合わせた訓練を行います。

感覚矯正事業との連携を図り言語聴覚士からの指導を食事や活動場面に生かします。

イ レクリエーション

作品の創作活動，ゲーム，カラオケ，映画鑑賞，買い物等を行い，生活体験を広げます。

ウ 健康管理

保健師，看護師による保護者への健康管理の助言や主治医の指示による医療的ケアを行います。

エ 給食サービス

児童の摂食状態に合わせ，普通食，粒ペースト食，ペースト食などの形態に分けた給食を提供します。

また，児童の健康状態に合わせアレルギー除去食を提供します。

オ 療育相談の実施

家庭療育についての助言，育児不安の相談，情報提供等を行うとともに，保護者との協力体制を確立します。

カ 関係機関・団体との連携

支援学校等と連携を密にして，地域に根ざした施設を目指します。

(3) 生活介護

ア 介護サービス

排泄，食事，口腔ケア等，日常生活動作の困難な利用者に必要な介助を行います。

イ 給食サービス

利用者の摂食状態に合わせ普通食，粒ペースト食，ペースト食などの形態に分けた給食を提供します。

また、利用者の健康状態に合わせアレルギー除去食を提供します。

ウ 創作的活動

工作や絵画，習字等の活動を行います。

エ 健康管理

- ・小児科医による診察を行います。 1回／週
- ・整形外科医による診察を行います。 1回／週
- ・保健師，看護師による保護者への健康管理の助言や主治医の指示による医療的ケアを行います。

オ 訓練

身体機能の維持と低下を防止するため，利用者のニーズに合わせた訓練を行います。

感覚矯正事業との連携を図り言語聴覚士からの指導を食事や活動場面に生かします。

カ レクリエーション

ゲーム，カラオケ，音楽，散歩，買い物等を行い生活体験を広げます。

キ 行事

七夕，ハロウィン，運動会，遠足，クリスマス会等を実施するとともに，他施設との交流など社会参加に繋がるプログラムを取り入れます。

ク 相談・助言

家庭介護についての相談及び助言を行います。

ケ 関係機関・団体との連携

医療機関，保健所，支援学校等との連携を密にして，業務の活性化を図るとともに，関係団体による研修会等に参加して職員の能力の向上を図ります。

コ 地域福祉の推進

地域との交流を深めるため，ボランティアの育成を行うとともに，実習生も積極的に受け入れていきます。

(4) 日中一時支援事業

ア 訓練

感覚刺激を取り入れた遊びや活動を行い，自発性を引き出す力を育てていきます。

イ 保育

音楽遊びや作品の製作及び感覚遊びや運動遊びを通して，友達との関わりや意欲が育つよう支援します。

ウ 健康管理

看護師による児童の健康管理を行います。

エ 給食サービス

児童の摂食状態に合わせ普通食，粒ペースト食，ペースト食などの形態に分けた給食を提供します。

また，利用者の健康状態に合わせアレルギー除去食を提供します。

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------|-------|---------|---------|---------|
| 医療型児童発達支援 | 契約者数 | 23人 | 22人 | 25人 |
| | 延利用者数 | 3,380人 | 3,386人 | 3,600人 |
| 放課後等デイサービス | 契約者数 | 13人 | 13人 | 15人 |
| | 延利用者数 | 102人 | 156人 | 165人 |
| 生活介護 | 契約者数 | 8人 | 8人 | 10人 |
| | 延利用者数 | 511人 | 567人 | 570人 |
| 日中一時支援事業 | 契約者数 | 13人 | 11人 | 13人 |
| | 延利用者数 | 383人 | 371人 | 375人 |

老人福祉センターは、地域の60歳以上の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活を営めるよう支援する施設です。

今年度から新たに「まきび荘」が加わり、3施設を運営します。

〔主な事業内容〕

(1) 各種相談等事業

- ア 生活、住宅、身上、生業、就労等に関する相談を行います。
- イ 疾病の予防や治療、後退機能の回復に関する相談を行います。
また、看護師による健康相談を行い、健康管理についての助言を行います。

(2) 教養の向上に関する事業

- ア 倉敷市生きがい対応型デイサービス事業をセンター内で実施し、生きがいや健康づくりに関する各種講座を通じて、高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を図ります。

| 西岡荘 | 有城荘 |
|---------------|-----------|
| 初めての太極拳 | 女性コーラス |
| 高齢者音楽体操 | グラウンドゴルフ |
| スッキリ健康体操(新) | はじめての水彩画 |
| 楽しい人形作り(新) | ボールで楽しく体操 |
| 楽々ヨーガ(新) | オカリナ(新) |
| 生き生きエアロビクス(新) | |
| わくわく体操(新) | |
| 計7講座 | 計5講座 |

- イ 高齢者の関心や要望を取り入れながら、各荘の特色を生かした独自の講座を開催し、健康の維持や趣味のひろがりを支援します。

(3) レクリエーション等の事業

高齢者の憩いの場として、カラオケ、ビリヤード、囲碁、卓球等の娯楽器具やオセロやトランプなどの遊具を用意して、多数の方々が出会い楽しく過ごせるよう支援します。

各荘で趣向を凝らした独自事業を積極的に行い、新規利用者の開拓に努めます。特に、外出の機会の少ない方や交流を求めている方が気軽に参加できる場と雰囲気をつくり、心身の健康維持に努めます。また、各種同好会の活動を側面的に支援します。

(4) 浴場開放事業(まきび荘を除く。)

清潔の保持や健康の増進に加え、ふれあいと交流の場として、大きな浴槽と清潔な湯をゆつたりと利用することで、心と身体のリフレッシュを図ります。

浴場開放時間中は職員による声かけ等安全確認を行い、事故防止に努めます。また、浴場は毎日清掃し、衛生管理に努めます。

I 西岡荘

(1) 寿講座

関係機関と連携しながら、「自分の歯っていいな（大人編）」、「倉敷の身近なエコの話」等のテーマで、利用者の関心の高そうな講座を年8回開催します。

また、内容によっては、地域の方も受講できるよう一般開放します。

(2) 創作活動

創作活動をすることで、新たな発見、生きがいの創造に繋がるよう支援します。

新たに「ごきぶり団子作り」、「お化粧品教室」を加え、8講座を開催します。

| | | |
|---|----------------------|-----|
| ア | 心を伝える絵手紙講座 | 全8回 |
| イ | 初めての手編み講座 | 全6回 |
| ウ | 着付け講座 | 全6回 |
| エ | 楽しいペン習字講座 | 全8回 |
| オ | 新聞エコバッグ作り講座 | 1回 |
| カ | ごきぶり団子作り（新） | 1回 |
| キ | お化粧品教室（新） | 1回 |
| ク | 布ぞうり教室（ふれあいサロン共催）（新） | 全2回 |

(3) ふれあい事業

多くの方が気軽に参加し、交流を通して楽しく過ごせる事業を実施します。

| | |
|---|-----------------------|
| ア | ふれあいお茶会 |
| イ | 郷土探訪と歴史の研究ウォーク |
| ウ | 敬老感謝フェア（栄養改善協議会共催）（新） |
| エ | 焼き芋大会 |
| オ | ふれあいコンサート |
| カ | 干し柿のおもてなし（新） |
| キ | 花苗の配布（新） |

(4) レクリエーション事業

高齢者の憩いの場として、楽しく過ごせるよう、レクリエーションへの参加のきっかけ作りを支援します。

| | | |
|---|-----------------------|-----|
| ア | 初めての卓球教室（新） | 全5回 |
| イ | 初めてのビリヤード（新） | 全5回 |
| ウ | ビリヤード大会（有城荘との交流事業）（新） | 1回 |
| エ | 健康増進講座（新） | 全5回 |

(5) 演芸大会

西岡荘で活動している同好会や利用者を中心に、日頃の練習の成果を発表する場として演芸大会を年2回開催します。また、市内で活躍している団体やグループに出演していただき、利用者が楽しめる「演芸ボランティア大会」を年1回開催し、地域の方にも一般開放します。

(6) 利用実績と目標

利用者ニーズを取り入れた高齢者の憩いの場として、地域に愛される施設となるよ

う創意工夫に努めるとともに、地域の行事に参加する等、地域貢献活動を積極的に行います。また、新規利用者を開拓するため、積極的なPRによる未利用者の掘り起こしを行い利用者数の増加を図ります。

| | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------------|--------------|---------|---------|---------|
| 利用者実人員 | | 25,764人 | 25,800人 | 26,200人 |
| 利 用 内 容 | 各種相談等事業 | 14,274人 | 15,500人 | 15,800人 |
| | 教養の向上に関する事業 | 1,276人 | 1,300人 | 1,400人 |
| | レクリエーション等の事業 | 11,851人 | 12,200人 | 12,500人 |
| | 浴場開放事業 | 16,035人 | 15,700人 | 15,900人 |

(利用内容は重複あり)

II 有城荘

(1) 教養講座

新たに「さわやか講座」として全8回の講座を開催します。今年度は有城荘で特に要望の高いフラダンス講座を実施します。また、関係機関と連携しながら「介護予防」や「正しい終活知識」などのテーマで講座・講演を行い、健康で安心な生きがいを持った生活を送るための支援をします。

(2) レクリエーション事業

利用者の興味や関心をより豊かにし、心身の健康増進の機会を提供するため、多彩な事業を実施します。また、隣接する倉敷児童館で子どもたちとふれあう交流事業を行うほか、新たに西岡荘との交流事業を行います。

ア ウォーキング大会，ニュースポーツ大会，グラウンドゴルフ大会（新）

イ 紙バンドのバッグ作り，手描友禅

ウ ごきぶり団子作り，しめなわ作り

エ 新春カラオケ大会

オ ビリヤード大会（西岡荘との交流事業）（新）

カ そうめん流し，お正月遊び（倉敷児童館との交流事業）

(3) 有城荘まつり

地域の方々のふれあいの場となるよう、広く施設を開放するとともに、利用者の日頃の創作活動や演芸を発表する場として、2月に有城荘まつりを開催します。

(4) シルバー作品展

第41回を迎える倉敷市シルバー作品展業務の一部を今年度も受託し、倉敷市の高齢者生きがい対策に協力します。

(5) 利用実績と目標

有城荘を含む総合福祉会館は、駐車場の不足が大きな課題となっています。利用者の多くが自家用車で来荘するため、利用人数の大幅な増加は望みにくい状況です。今後も、娯楽施設としての役割だけでなく、健康に関することや生活上の不安など、身近な初期相談窓口としての機能をさらに充実させ、利用者に役立つ施設となるよう努めます。

| | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------------|--------------|---------|---------|---------|
| 利用者実人員 | | 27,545人 | 25,700人 | 27,500人 |
| 利 用 内 容 | 各種相談等事業 | 19,341人 | 19,340人 | 19,500人 |
| | 教養の向上に関する事業 | 1,762人 | 1,730人 | 1,750人 |
| | レクリエーション等の事業 | 23,660人 | 23,270人 | 23,500人 |
| | 浴場開放事業 | 9,623人 | 8,590人 | 8,600人 |

(利用内容は重複あり)

Ⅲ まきび荘

(1) 各種講座

共通の趣味や興味を持つ高齢者が、様々な機会を通じて健康で豊かな生きがいを持った生活を送るための講座を開催します。

| | |
|--------|-------|
| ア 歌唱指導 | 週 1 回 |
| イ 手編教室 | 月 2 回 |
| ウ 生花教室 | 月 2 回 |
| エ 詩吟の会 | 月 2 回 |
| オ 気功体操 | 週 1 回 |

(2) レクリエーション事業

地域の団体や組織と協力して高齢者のニーズに合った事業を実施します。

また、世代間のふれあい交流行事を計画的に行います。

- ア 七夕まつり，クリスマス会，節分の会，ひな祭り等の季節行事
- イ 地域福祉の勉強や高齢者との交流を実践する学生との交換会
- ウ 地元小学生と高齢者との交流会

(3) ゲートボール大会

まきび荘は、屋根付きゲートボール場を 2 面持つ市内でも恵まれた福祉施設です。地元のゲートボール協会と事業所がタイアップし、年間 20 回程度の競技会を開催します。

(4) 利用実績と目標

建物の老朽化が進んでいますが、利用者は年々増加の傾向にあります。

今年度も、地域の団体や高齢者等の交流の場として、幅広く機能する施設となるよう努めます。

| | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|------------------|--------------|---------|---------|---------|
| 利用者実人員 | | 17,862人 | 17,620人 | 17,700人 |
| 利 用 内 容 | 各種相談等事業 | 17,972人 | 17,910人 | 18,000人 |
| | 教養の向上に関する事業 | 1,035人 | 1,160人 | 1,200人 |
| | レクリエーション等の事業 | 14,615人 | 13,500人 | 13,600人 |

(利用内容は重複あり)

倉敷児童館

倉敷北児童センター

水島児童館

児島児童館

玉島児童館

真備児童館

児童館は、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする施設です。

少子化社会にあって、児童が心身ともに健やかに育つための環境づくりを行うとともに楽しくふれあえる場、安心・安全に過ごせる居場所を提供し、児童福祉の向上に努めます。

また、児童館の適正な管理及び円滑な運営を図るため「倉敷市児童館運営委員会」を開催し、幅広い視野での見識と情報収集に努め、より良い内容の事業を実施します。

その他、地域組織活動（母親クラブ等）を中心に地域住民や関係機関と連携を図り、協力して活動します。

平成26年度からの新規事業として「おもちゃバンク」を設立し、交換又は譲渡しておもちゃを再活用してもらえるシステムを作ります。

〔主な事業内容〕

(1) 児童館で共通に取り組む事業

ア 児童福祉週間の一環として、4月に「倉敷っ子フェスティバル」を各児童館で開催します。26年度はさらに利用者が参加しやすくなるように2日に分けて3館ずつ行います。

イ 各児童館が、「出前キッズ号」として地域のイベントや親子クラブ等の要望に応じて出向き、工作・遊びの提供や児童館活動の広報に努めます。また、6館合同で「キッズカーニバル」を開催し、「いきいきふれあいフェスティバル」「子どもまつり」等にも参画します。

(2) 遊びによる子どもの育成に関する事業

ア 親子や地域の人とのふれあい、交流ができる季節の行事の実施

イ 体力増進活動の促進（バスケットボール、卓球、一輪車等）

ウ 文化、創造活動、食育の促進（わらべうた、工作、クッキング等）

(3) 子ども同士の交流及び日常生活の支援に関する事業

ア 子どもに安全な居場所を提供するとともに、健康及び行動について必要に応じて保護者へ連絡します。

イ 年齢を問わず交流やグループ遊びなど、様々な活動に自発的に取り組めるよう支援します。

(4) 保護者の子育て支援に関する事業

ア 子どもとその保護者が、自由に交流できる場所や子育てに関する情報を提供し、

親子のふれあい活動を行います。

イ 子どもの発達上の課題について、関係機関と連携を図り、気軽に相談できるような子育て支援を行います。

ウ 児童虐待予防に取り組み、保護者の子育てへの不安や課題には関係機関と協力して継続的に支援し、必要に応じて市や児童相談所と連携して対応に努めます。

(5) 地域の健全育成の環境づくりに関する事業

ア 児童館活動の内容を広報くらしきやホームページ、ケーブルTV等を通じてPRします。また、児童館だよりを毎月発行し、児童館活動に関する理解や協力が得られるように努めます。

イ 地域の様々な子どもの育成活動に協力するなど、児童館活動に関する理解や協力が得られるように努めます。

ウ 地域組織活動（母親クラブ）の育成を支援し、その協力を得ながら、地域の子どもの健全育成を推進します。

(6) ボランティアの育成に関する事業

ア 児童館を利用する子どもが児童館や地域社会で自発的に活動できるよう支援し、ボランティアとして活動できるように育成や援助を行い、児童館との繋がりが継続できるようにします。

イ 地域住民がボランティアとして児童館の活動に参加できる場を提供します。

また、学生ボランティアや実習生を積極的に受け入れ、児童とふれあう機会を設け、次世代育成に努めます。

(7) 配慮を必要とする子どもへの支援に関する事業

ア 子どもが互いに協力しながら活動できるよう活動内容や環境について配慮し、悩みや問題を抱える子どもには適切な支援をし、児童館が安心できる居場所となるようにします。

イ 他機関との連携を深め、子育て相談や不登校児への支援を行います。

(8) 倉敷北児童センターの体力増進指導に関する事業

遊び（運動を主とする）を通して体力増進を図ることを目的として、子どもが運動に親しむ習慣を形成します。

また、体力増進指導を通して子どもの社会性を伸ばし、心と身体の健康づくりを図ります。

(9) 玉島児童館の地域子育て支援拠点事業（連携型）

玉島児童館3階に常設しているつどいの広場では、おおむね3歳までの児童及び保護者を対象として、親子が気軽に利用できる交流の場の提供や親子間の交流を深める取り組み等の地域支援活動をします。

子育て等に関する相談や援助、地域の子育て関連情報の提供、子育て支援に関する講習等を実施します。

(10) 自主事業

ア 家庭で使わなくなったおもちゃを引き取って欲しいという要望が多いので、「おもちゃバンク」を設立し、交換又は譲渡して、子どもたちに地域の資源としておもちゃを再活用してもらえらるシステムを作ります。（新規事業）

イ 地元の中・高校生の職場体験や大学生の実習，インターンシップ等の受け入れをします。

ウ 事業団職員を講師とし，児童親子を対象とした「体操教室」や「育児相談・身体計測」等を実施し，利用者のニーズに沿ったより良い企画・実施をします。また，要望により，児童館職員も他施設に出向き，子育て支援や交流等をします。

エ 幼児親子クラブや小学生以上対象の体験クラブ等を行い，年間を通して，地域の児童や保護者が定期的集い，仲間づくりやいろいろな体験ができるように育成支援をします。

(11) 各館で個別に取り組む事業

ア 倉敷児童館

(ア) ディアボロ（中国ごま）やけん玉を通し，異年齢同士や高齢者との交流の機会を増やし，集中力，努力する力，体力が養えるよう普及に努めます。

(イ) 子育て中の保護者が交流できる場として実施している「スロータイム」の回数を増やしたり，保護者も講師等として活躍できる場を提供したり，有城荘とも連携しさらなる子育て支援の充実を目指します。

(ウ) 地域の子育て支援環境に対応し，0・1・2歳児親子の年齢別クラブを実施します。

イ 倉敷北児童センター

(ア) けん玉の普及を通して，コミュニケーション能力を高め，達成感に繋がります。発表の場として「けん玉ショー」を実施します。

(イ) 「友遊タイム」の内容を見直し，来館児童が気軽に参加できる遊びの場を提供します。

(ウ) センターだよりの配布先や出前キッズ号の実施場所を検討し，広報活動の充実を図ります。

ウ 水島児童館

(ア) 毎月実施している「わくわく☆ひろば」が，乳幼児親子の交流や子育ての共有の場としてさらに充実するよう努めます。

(イ) 中学生のチャレンジワークや小学生のボランティアの機会を増やし，地域の人との繋がりが深まるよう支援します。

(ウ) 広いグラウンドを生かして身体を使う遊びや活動を企画し，健やかな身体づくりを応援します。

エ 児島児童館

(ア) 「音楽あそび」や「科学あそび」等，小学生以上が興味や関心を持てる行事を取り入れ参加者の増加に繋がっていきます。

(イ) 他機関との連携を深め，月一回以上の子育て相談や不登校児への支援を引き続き行い，日常的に相談できる場として充実を図ります。また，出前事業の実施場所等の見直しを図り，児童館活動の広報に努めます。

(ウ) 児童館を利用している中・高校生や大学生が，学生ボランティアとして児童館に関わり，地域社会との繋がりが持てるようボランティアの育成に努めます。

オ 玉島児童館

(ア) 中・高校生が気軽に児童館活動に参加できるように支援し、次世代の児童館ボランティアの育成や人材確保に繋がります。

(イ) わらべうたあそびを始め、こま、けん玉、将棋、日本舞踊など、様々な伝統文化に触れる体験を地域の人とともに楽しみながら、世代間交流の促進を図ります。

(ウ) 0歳児親子のニーズに応じたあそびの提案や、子どもの発達上の悩みや育児など、母親自身の不安解消に繋がる企画を実施します。

カ 真備児童館

(ア) 「0歳児こんにちは！」の行事内容を見直し、親同士の仲間作りの支援や育児の悩み等が話せる場を提供し、乳幼児親子の活動の充実に繋がります。

(イ) 学校へ年間計画表や毎月発行する児童館だよりにより、中・高校生がボランティア活動に参加しやすいよう働きかけるとともに、近隣の大学にボランティア活動のサポート役を依頼し、ボランティアの育成に繋がるよう努めます。

(ウ) 近隣の真備健康福祉館や図書館と連携し、親子体操や運動あそび、絵本の読み聞かせ等の行事を企画し実施していきます。

〔児童館の利用実績と目標〕

(1) 倉敷児童館

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 16,164人 | 15,600人 | 16,000人 |
| 小学生 | 10,493人 | 11,300人 | 12,000人 |
| 中学生・高校生 | 1,728人 | 2,200人 | 2,500人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 25,465人 | 23,900人 | 24,700人 |
| 合 計 | 53,850人 | 53,000人 | 55,200人 |

(2) 倉敷北児童センター

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 12,430人 | 13,200人 | 13,300人 |
| 小学生 | 17,389人 | 16,700人 | 16,900人 |
| 中学生・高校生 | 2,987人 | 3,300人 | 3,300人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 21,903人 | 21,600人 | 21,700人 |
| 合 計 | 54,709人 | 54,800人 | 55,200人 |

(3) 水島児童館

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 16,075人 | 14,800人 | 15,000人 |
| 小学生 | 9,190人 | 8,700人 | 8,900人 |
| 中学生・高校生 | 1,929人 | 2,200人 | 2,300人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 18,316人 | 19,900人 | 20,000人 |
| 合 計 | 45,510人 | 45,600人 | 46,200人 |

(4) 児島児童館

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 13,501人 | 14,000人 | 14,700人 |
| 小学生 | 7,943人 | 8,000人 | 8,400人 |
| 中学生・高校生 | 1,083人 | 900人 | 900人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 19,442人 | 20,500人 | 21,200人 |
| 合 計 | 41,969人 | 43,400人 | 45,200人 |

(5) 玉島児童館

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 21,677人 | 21,200人 | 21,900人 |
| 小学生 | 11,019人 | 10,000人 | 10,500人 |
| 中学生・高校生 | 1,881人 | 1,900人 | 2,000人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 23,891人 | 24,900人 | 25,800人 |
| 合 計 | 58,468人 | 58,000人 | 60,200人 |

(6) 真備児童館

| 区 分 | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 乳幼児 | 14,552人 | 13,600人 | 14,500人 |
| 小学生 | 8,677人 | 7,800人 | 8,700人 |
| 中学生・高校生 | 1,776人 | 1,300人 | 2,200人 |
| 保護者・ボランティア・その他 | 15,329人 | 14,300人 | 15,800人 |
| 合 計 | 40,334人 | 37,000人 | 41,200人 |

長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける在宅の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び家族の方々に対し、日常生活の支援、相談・情報提供、地域交流活動などの利用援助等を行い、自立と社会復帰及び社会参加を促進し、障がい者の福祉の増進を図ります。

施設の目的を達成するため、各種事業の実施にあたっては、児島・玉島・水島の障がい者支援センターが連携を緊密にし、事業の充実を図ります。

また、特定相談支援事業及び障害児相談支援事業については、平成24年度から事業実施している児島、玉島に続き、平成26年度から新たに水島障がい者支援センターが加わり、3センターで事業を実施します。

〔主な事業内容〕

(1) 日常生活支援

障がい者やその家族に憩いの場を提供するとともに、様々な集団的活動を通じて社会性を高められるよう支援します。また、余暇活動を通して生活の質の向上を図り、日常生活の課題に対しても個別的な支援を行います。

図書、囲碁・将棋、各種ゲーム等を備え、くつろいで過ごせる快適な環境づくりのほか、卓球、パソコン、カラオケ、簡単クッキング等の各種教室やバス旅行など、利用者の要望に添った自主事業の充実に努めます。

(2) 在宅福祉サービスの利用援助

福祉サービスの情報提供と利用助言及び申請手続きの援助など、在宅福祉サービスの利用援助を行います。

(3) 相談・情報提供

電話・面談・家庭訪問などにより、住居、就労の問題や日常的な個々の悩み及び不安についての相談を受け、本人の意思を尊重しつつ、本来持っている本人の力を向上させながら解決の援助を行います。また、必要に応じて、関係機関とも連携を図りながら情報提供や同行支援を行い、生活基盤の確立と社会生活を支えるプログラムを進めます。

機関紙「はばたきだより」及び行事予定表の発行、就労に関する相談、手話通訳相談、ピアカウンセリング等を実施し、利用者の状況に合わせた支援の充実に努めます。

(4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」及び「児童福祉法」に基づく、特定相談支援事業及び障害児相談支援事業を行います。

障がい者（児）との相談支援に係る利用契約を締結し、相談支援専門員がサービス等利用計画を作成し、計画に沿って支援します。

(5) 地域交流・啓発活動

障がい者の自主的な活動を促進し、地域住民とふれあい支え合える場を広げるため、地域で行われる行事に積極的に参加するとともに、支援センターで開催する行事への地域住民の参加を推進します。

障がい者，家族，地域住民，関係団体及びボランティアの方々が，いつでも気楽に交流できる地域に開かれた場として提供します。

初詣，はばたきふれあい祭り，クリスマス会等を実施し，地域との交流を深めて福祉の増進を図ります。

(6) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援

障がい者が地域社会の中で自立した生活を営むため，当事者や家族の様々な悩みに対して相談やアドバイス，情報提供を行い，障がい者とその家族が地域生活を円滑に行えるよう関係機関と連携を図りながら支援します。

(7) 共通重点目標

ア 支援センターの事業や役割について，市民の認知度を高めていくため，イベント開催時にチラシを配布するとともに，関係機関等を通じて市民への周知を図ります。

イ 医療機関，福祉関係機関及び学区単位で実施されている小地域ケア会議等で情報交換や情報提供を行い，支援を必要とする利用者の掘り起こしに努めます。

ウ ボランティアの参加を推進していくため，地域内の各学校や団体へ依頼するなど，継続ボランティアの定着を目指します。

(8) 支援センター別の重点項目

ア 児島障がい者支援センター

地域ケア会議及び関係機関との連携を密にしながら，相談支援事業所として内容の充実した支援に努めます。

また，利用者が気軽に参加できるセンターを目指して，季節行事やイベント等の充実を図り，サービスの向上に努めます。

イ 玉島障がい者支援センター

サロン事業や季節行事等の実施にあたっては，多くの利用者から意見等を出し合ってもらうことで，参加意識の拡大を図り気軽に参加できる参加者主体型の事業を推進します。

また，利用者のニーズに沿った適切な支援を推進するため，関係機関との連携を密にし，積極的にケア会議を開催します。

ウ 水島障がい者支援センター

利用者の増大を図るため，地域との交流活動に積極的に参加し，センターの広報活動を行います。

また，利用者の意見を取り入れた季節行事やイベント等を実施します。

〔障がい者支援センターの利用実績と目標〕

(1) 児島障がい者支援センター

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|
| 延利用者数 (人) | 精神障がい者 | 13,043人 | 11,950人 | 12,000人 |
| | 知的障がい者 | 3,197人 | 2,900人 | 3,000人 |
| | 身体障がい者 | 1,226人 | 1,300人 | 1,300人 |
| | ボランティア等 | 1,495人 | 1,750人 | 1,700人 |
| | 合 計 | 18,961人 | 17,900人 | 18,000人 |
| 相談件数 (件) | 精神障がい者 | 10,936件 | 7,700件 | 7,850件 |
| | 知的障がい者 | 1,264件 | 750件 | 750件 |
| | 身体障がい者 | 327件 | 450件 | 450件 |
| | 合 計 | 12,527件 | 8,900件 | 9,050件 |
| 特定相談 (人) | 精神障がい者 | 5人 | 3人 | 4人 |
| | 知的障がい者 | 0人 | 2人 | 3人 |
| | 身体障がい者 | 2人 | 2人 | 3人 |
| | 合 計 | 7人 | 7人 | 10人 |

(2) 玉島障がい者支援センター

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|
| 延利用者数 (人) | 精神障がい者 | 8,106人 | 7,900人 | 8,000人 |
| | 知的障がい者 | 3,887人 | 3,600人 | 3,700人 |
| | 身体障がい者 | 942人 | 750人 | 800人 |
| | ボランティア等 | 1,480人 | 1,500人 | 1,500人 |
| | 合 計 | 14,415人 | 13,750人 | 14,000人 |
| 相談件数 (件) | 精神障がい者 | 8,920件 | 8,050件 | 8,200件 |
| | 知的障がい者 | 1,670件 | 2,000件 | 2,050件 |
| | 身体障がい者 | 616件 | 650件 | 700件 |
| | 合 計 | 11,206件 | 10,700件 | 10,950件 |
| 特定相談 (人) | 精神障がい者 | 3人 | 5人 | 6人 |
| | 知的障がい者 | 0人 | 1人 | 1人 |
| | 身体障がい者 | 2人 | 4人 | 5人 |
| | 合 計 | 5人 | 10人 | 12人 |

(3) 水島障がい者支援センター

| 区 分 | | H24年度実績 | H25年度見込 | H26年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|
| 延利用者数 (人) | 精神障がい者 | 8,113人 | 7,800人 | 7,900人 |
| | 知的障がい者 | 2,373人 | 2,800人 | 2,850人 |
| | 身体障がい者 | 938人 | 650人 | 650人 |
| | ボランティア等 | 2,064人 | 2,250人 | 2,300人 |
| | 合 計 | 13,488人 | 13,500人 | 13,700人 |
| 相談件数 (件) | 精神障がい者 | 4,564件 | 6,300件 | 6,400件 |
| | 知的障がい者 | 1,546件 | 2,100件 | 2,150件 |
| | 身体障がい者 | 454件 | 300件 | 300件 |
| | 合 計 | 6,564件 | 8,700件 | 8,850件 |
| 特定相談 (人) | 精神障がい者 | — | — | 4人 |
| | 知的障がい者 | — | — | 1人 |
| | 身体障がい者 | — | — | 1人 |
| | 合 計 | — | — | 6人 |

16. 在宅福祉課

在宅福祉課

(1) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

介護を必要とする高齢者や障がい者の方が、住み慣れた家庭や地域において可能な限り自立した生活を送り続けていくことができるよう、介護保険制度等に基づく指定事業所として、ホームヘルパーを派遣し、生活全般にわたる援助を行います。

今年度はヘルパーの研修等に積極的に取り組み、介護サービスの質の向上に努めるとともに、居宅介護事業所等の関係機関へ空き情報の提供を行うなど事業PRを効果的に実施し、新規利用者の確保に努めます。また、草取りや入院中の洗濯、買い物等の介護保険対象外の介護サービスにも力を入れ、利用者の方々が安心して快適な生活が送れるよう支援します。

利用者数(1か月当たりの平均) (人)

| 区分 | 年度 | 倉敷 | | | 水島 | | | 児島 | | | 玉島 | | | 合計 | | |
|----------|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 |
| 介護保険 | 介護給付 | 34 | 41 | 42 | 49 | 54 | 56 | 69 | 71 | 73 | 27 | 28 | 30 | 180 | 194 | 201 |
| | 予防給付 | 64 | 58 | 65 | 20 | 17 | 20 | 26 | 22 | 25 | 29 | 23 | 25 | 138 | 120 | 135 |
| 障がい者支援 | | 42 | 45 | 43 | 21 | 20 | 22 | 24 | 27 | 27 | 19 | 17 | 19 | 106 | 109 | 111 |
| 地域生活支援 | | 7 | 6 | 6 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 12 | 13 | 13 |
| すくすく育児支援 | | 11 | 11 | 12 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 4 | 15 | 16 | 20 |
| 自主サービス | | 6 | 4 | 7 | 2 | 3 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 7 | 7 | 17 | 19 | 23 |
| 合計 | | 164 | 165 | 175 | 94 | 96 | 106 | 126 | 127 | 133 | 84 | 83 | 89 | 468 | 471 | 503 |

(2) 居宅介護等支援事業

介護保険制度に基づき、居宅介護支援事業者の指定を受け、ケアマネージャーがケアプランの作成等の業務を行います。

公正中立の事業所として、引き続き利用者本位のサービス向上に努めます。また、利用者増加に向け関係機関との連携強化を図ります。

利用者数(1か月当たりの平均) (人)

| 区分 | 年度 | 倉敷 | | | 児島 | | | 玉島 | | | 合計 | | |
|------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 | 24 実績 | 25 見込 | 26 目標 |
| 要介護1 | | 24 | 28 | 28 | 42 | 44 | 42 | 7 | 6 | 7 | 73 | 78 | 77 |
| 要介護2 | | 27 | 29 | 29 | 35 | 37 | 38 | 10 | 6 | 9 | 72 | 72 | 76 |
| 要介護3 | | 15 | 11 | 14 | 32 | 34 | 34 | 5 | 7 | 6 | 52 | 52 | 54 |
| 要介護4 | | 18 | 12 | 16 | 12 | 8 | 11 | 3 | 3 | 4 | 33 | 23 | 31 |
| 要介護5 | | 10 | 13 | 10 | 11 | 9 | 11 | 4 | 6 | 4 | 25 | 28 | 25 |
| 合計 | | 94 | 93 | 97 | 132 | 132 | 136 | 29 | 28 | 30 | 255 | 253 | 263 |

(3) ヘルパー等養成研修実習生の受け入れ

介護福祉士やヘルパーの資格取得のための実習について、高校、短大等からの依頼に基づき、介護実習生をホームヘルプステーションで受け入れます。

学校数6校、延べ130人(平成25年度見込5校、延べ138人)

(4) 要介護等認定調査事業

介護保険認定調査及び障害者支援区分認定調査を受託し実施します。

ア 介護保険認定調査 55件(平成25年度見込50件)

イ 障害者支援区分認定調査 210件(平成25年度見込210件)